

第 115 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金									
未	収	入	金	前	払	金	仮	払	金	備		品									
貸	付	金	支	払	手	形	買	掛	金	未	払	金									
前	受	金	仮	受	金		備	品	減	償	却	累	計	額	資	本	金				
売		上	受	取	手	数	料		固	定	資	産	売	却	益	仕		入			
旅	費	交	通	費		固	定	資	産	売	却	損		支	払	手	数	料	雑		益
雑		損			現	金	過	不	足												

- 現金の実際有高が帳簿残高より多かったため、現金過不足勘定で処理されていた ¥ 10,000 のうち、¥ 6,000 は受取手数料の記入漏れであることが決算日にいたり判明した。残額については不明のため、適当な科目に振り替えることにした。
- 商品 ¥ 96,000 を掛けで売り渡した取引を、借方・貸方とも誤って ¥ 69,000 と記入されていたので、正しい金額に修正した。
- 商品 ¥ 200,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 はすでに支払ってある手付金で充当し、残額は掛けとした。
- 不要となった備品（取得原価 ¥ 300,000、減価償却累計額 ¥ 100,000、間接法で記帳）を期首に処分し、売却代金 ¥ 50,000 は後日受け取ることにした。
- 従業員の出張に際し、旅費の概算額 ¥ 100,000 を現金で手渡した。